

秋山歯科医院NEWS



2017年12月号

毎年思うことは同じですが、1年がたつのは早いですね。2017年も終わり、新しい年になろうとしています。

今年はスタッフが入社したり退職したり、メンバーの入れ替わりがありました。また、スタッフがTC(トリートメントコーディネーター)の勉強会に参加したり、院長が学会の全国大会で発表したりして院内の医療レベルも確実に上がっています。また勤務医の先生も加わりました。

より落ち着いて充実した医療を提供できるよう、来年も引き続き飛躍した1年にしていきたいと思います。

と一点点、今回のNEWSは、医学的な内容は一切ありません。番外編だらけです。暇つぶしに読んでください。



院長の 気になるお口のお話 (番外編) 10周年を迎えて

私が妻と鳥取に戻って、丸10年をむかえることができました。これも来院していただいている患者さんのおかげだと思っています。高度の歯科治療と高い水準の患者さん対応という2本柱をかかげ、医院改革をおし進めていきました。具体的には治療の説明をしっかりと行うこと、丁寧で正確、精密な治療をおこなうこと、患者さんの待ち時間を短縮させること、患者さんの食生活に貢献できるように予防歯科に力を入れてきました。私の性格上、強引なところもあったかもしれませんが、よりよい歯科医療を提供するという信念は曲げることはできませんでした。医院改革に戸惑いながらも私についてきてくれたスタッフにはとても感謝しています。

10年たって、この医院が存在するのはスタッフの力が大きかったと思います。いつも研修で医院と家を留守にすることが多く、その間守って支えてくれた妻にも感謝しています。これからも地域医療に貢献できるよう自らの体のコンディションもコントロールしながら前に進み続けたいと思っています。

10周年10周年と騒いでいたら、スタッフがサプライズでお祝いしてくれました。(感謝)



1つ1つ丁寧な治療と説明を心がけていきます。気軽に何でも聞いてください！

- 飯島裕子先生
- 徳島県出身
- 徳島大学卒業
- 2児の母
- 趣味はドライブ

今年の八月より新しい女医さんが加わりました。

ご報告



よれば、人は歳をとれば肉体も衰えるが感情の起伏も穏やかになるそう。だから75歳の高齢期に向かっ、より円満で成熟した仲間でありたいと思う。



大先生のつぶやき

秋は中高年層には同窓会開催の絶好機である。行楽日和に恵まれ、心浮き浮き気分も最高。70歳を過ぎれば殆ど職場の一線から離れ日程にもユトリが出来、この度は10月初旬のウイークデーに一泊の中学校の同窓会が開催された。私も医院の第一線から退くことができたので心おき無く参加した。一流企業で俊敏を振るつた者も、地元で親の職業を継いで頑張つた者も平等に歳を重ね、頭が薄くなつたり、白くなつたり、皺が増えたり、お腹が出たり少しは型が悪くなつたが、皆様に福々しい顔をして互いにフアーストネイムで呼び合ふ素晴らしい日を過ごした。云わば長い人生の中喜びも悲しみもぐり抜けた仲間、そこにはキラキラした野望も警戒心も無く、鎧を脱いだり、無邪気でチョピリ好奇心をチラつかせる幼児期に戻つた様であった。人生経験豊かな人類学者に